

計画段階評価対応方針

【海岸事業】

実施箇所 実施主体	解決すべき課題等	達成すべき 政策目標	複数案との比較	対応方針
高知港海岸 海岸保全施設整備 四国地方整備局	<p>・南海トラフを震源とする大規模な地震・津波が発生した場合、現状においては、 (i)津波は浦戸湾湾口を通過して浦戸湾内に侵入・北上していき、浦戸湾内部の護岸等を越え、高知市中心部等で浸水被害が発生。 (ii)浦戸湾内部の護岸等は、液状化によって倒壊し、地震発生直後の地盤沈降とあいまって、その高さが満潮位よりも低くなる箇所が発生するため、背後地の浸水は長期化。</p>	<p>・発生頻度の高い津波 (Li津波)に対しては、防波堤や防潮堤などの構造物により、津波の侵入を防ぐ防災を目指す。 ・発生頻度の高い津波を越える津波に対しては、津波が施設を乗り越えた場合にも、粘り強く効果を発揮する構造上の工夫を行い、避難時間を稼ぐ減災を目指す。</p>	<p>・政策目標を達成するため、4つの対策案を立案した。 ・地震津波に対する防護効果や効果発現の確実性、河川流下への影響、湾内環境や船舶の航行への影響、コスト等により比較評価を実施した。</p> <p>(各案共通) ・第一線防波堤を延伸、嵩上げ、粘り強い構造へ改良 ・外縁部の防潮堤を液状化対策、嵩上げ、粘り強い構造へ改良 ・内部護岸等を液状化対策、粘り強い構造へ改良</p> <p>(案①)湾口部固定式案 ・湾口部に固定式構造物を設置 ・内部護岸等を嵩上げ</p> <p>(案②)孕固定式案 ・孕に固定式構造物を設置 ・内部護岸等を嵩上げ</p> <p>(案③)湾口部・孕固定式案 ・湾口部・孕に固定式構造物を設置 ・内部護岸等を嵩上げ</p> <p>(案④)湾口部可動式案 ・湾口部に可動式防波堤を設置</p>	<p>案①「湾口部固定式案」による対策が妥当</p> <p>理由：4案のうち、地震津波に対する防護効果、効果発現の確実性、河川流下への影響、湾内環境・航行船舶への影響や経済性等について、他案に比べ「①湾口部固定式案」が有利であるため。</p>